



代表質問の録画映像がご覧になれる、QRコードを掲載しました。

本号のこだいら市議会だよりから、3面「代表質問」において、会派ごとにQRコ

ードを掲載しました。お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各会派の代表質問の録画映像をご覧いただけます。注意事項等は、4面「QRコードについて」をご覧ください。



斎藤素巖作「エゴイスト」

美しい桜を前に静かにたたずむ（たけのこ公園）

令和3年3月定例会は、2月19日から3月26日まで36日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和3年度の各会計予算など市長提出議案22件を可決し、1件を閉会中の継続審査としました。議員提出議案は、喜平橋周辺と歩道の安全確保のための早急な整備を求める意見書を可決、5件を閉会中の継続審査とし、請願は1件を採択しました。

また、2月22日には6つの会派から13件の代表質問があり、その後2月24日から3日間にわたり、25人の議員から50件の一般質問がありました。

3月定例会

令和3年度各会計予算を可決

～一般会計予算は686億7千万円に～

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

5月11日(火) 幹事長会議(※1)

5月15日(土) 市民と議会の意見交換会(※2)

5月17日(月) 幹事長会議(※1)

5月18日(火) 総務委員会

5月19日(水) 生活文教委員会

5月20日(木) 厚生委員会

5月21日(金) 環境建設委員会

5月25日(火) 請願・陳情締切り(午前中)(※3)

5月31日(月) 幹事長会議(※1)

6月 3日(木) 議会運営委員会(※1)

6月 8日(火) 6月定例会本会議(初日)

6月 9日(水) 6月定例会本会議(一般質問)

6月10日(木) 6月定例会本会議(一般質問)

6月11日(金) 6月定例会本会議(一般質問)

6月15日(火) 総務委員会

6月16日(水) 生活文教委員会

請願・陳情締切り(午前中)(※4)

6月17日(木) 厚生委員会

6月18日(金) 環境建設委員会

6月21日(月) 広聴広報特別委員会

6月24日(木) 幹事長会議(※1)

6月25日(金) 議会運営委員会(※1)

6月30日(水) 6月定例会本会議(最終日)

広聴広報特別委員会(※1)

7月12日(月) 広聴広報特別委員会

(※1) 開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。

(※2) 詳細は8面をご覧ください。

(※3) 6月定例会初日日程の受付期限です。

(※4) 6月定例会最終日日程の受付期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

令和3年度予算総額

(単位:千円、%)

	3年度 予算額	2年度 予算額	伸び率	
一般会計	68,670,000	69,086,000	△0.6	
特別会計	国民健康保険事業	16,876,000	16,996,000	△0.7
	後期高齢者医療	4,569,000	4,470,000	2.2
	介護保険事業	14,720,000	14,165,000	3.9
下水道事業会計	収益的収入	4,303,819	4,351,161	△1.1
	収益的支出	3,845,279	3,945,534	△2.5
	資本的収入	891,157	1,097,441	△18.8
	資本的支出	1,735,203	1,797,308	△3.5

令和3年度 一般会計予算。 各特別会計予算。 下水道事業会計予算

なっています。限られた財源を真に必要な事業に振り向け、持続可能な財政運営を実現し次世代に対し責任を持って事業に取り組むための予算としています。

【後期高齢者医療特別会計】
予算総額は45億6千9百万円で、前年度比2.2%、9千9百万円の増となっています。

【一般会計】
予算総額は68億6千70万円で、前年度当初予算に比べ0.6%、4億1千6百万円の減と

【介護保険事業特別会計】
予算総額は14億7千20万円で、前年度当初予算に比べ3.9%、545万円の増と

【国民健康保険事業特別会計】
予算総額は16億8千76万円で、前年度当初予算に比べ0.7%、120万円の減と

【下水道事業会計】
収益的収入は4,303,819千円で、前年度当初予算に比べ1.1%、477,342千円の減と

収益的支出は3,845,279千円で、前年度当初予算に比べ2.5%、99,955千円の減と

資本的収入は891,157千円で、前年度当初予算に比べ18.8%、206,284千円の減と

資本的支出は1,735,203千円で、前年度当初予算に比べ3.5%、61,905千円の減と

下水道事業会計の増減は、

収益的収入は4,303,819千円で、前年度当初予算に比べ1.1%、477,342千円の減と

収益的支出は3,845,279千円で、前年度当初予算に比べ2.5%、99,955千円の減と

資本的収入は891,157千円で、前年度当初予算に比べ18.8%、206,284千円の減と

資本的支出は1,735,203千円で、前年度当初予算に比べ3.5%、61,905千円の減と

下水道事業会計の増減は、

収益的収入は4,303,819千円で、前年度当初予算に比べ1.1%、477,342千円の減と

収益的支出は3,845,279千円で、前年度当初予算に比べ2.5%、99,955千円の減と

資本的収入は891,157千円で、前年度当初予算に比べ18.8%、206,284千円の減と

資本的支出は1,735,203千円で、前年度当初予算に比べ3.5%、61,905千円の減と

下水道事業会計の増減は、

収益的収入は4,303,819千円で、前年度当初予算に比べ1.1%、477,342千円の減と

収益的支出は3,845,279千円で、前年度当初予算に比べ2.5%、99,955千円の減と

資本的収入は891,157千円で、前年度当初予算に比べ18.8%、206,284千円の減と

資本的支出は1,735,203千円で、前年度当初予算に比べ3.5%、61,905千円の減と

下水道事業会計の増減は、

収益的収入は4,303,819千円で、前年度当初予算に比べ1.1%、477,342千円の減と

収益的支出は3,845,279千円で、前年度当初予算に比べ2.5%、99,955千円の減と

資本的収入は891,157千円で、前年度当初予算に比べ18.8%、206,284千円の減と

資本的支出は1,735,203千円で、前年度当初予算に比べ3.5%、61,905千円の減と

下水道事業会計の増減は、

収益的収入は4,303,819千円で、前年度当初予算に比べ1.1%、477,342千円の減と

収益的支出は3,845,279千円で、前年度当初予算に比べ2.5%、99,955千円の減と

資本的収入は891,157千円で、前年度当初予算に比べ18.8%、206,284千円の減と

資本的支出は1,735,203千円で、前年度当初予算に比べ3.5%、61,905千円の減と

市議会公明党 賛成

市民の生命と生活を守るため一定の事業展開がなされている

①がん検診の受診勧奨案内の全戸配布、②健康ポイントとボランティアポイントの事業統合、③フレイル予防推進員の配置、④生活困窮者の支援体制の強化、⑤災害時の蓄電池設置への助成の検討、⑥ICT支援員の配置、⑦各種証明書のコンビニ交付は評価できる。なお、使用料等の見直しは公平性の観点から粛々と進めるべきである。公共交通は、総合的な交通体系を整理し見直す必要がある。ごみ袋の値下げ時期の前倒しを検討すべきである。空き家対策は、福祉連携で借りる側に寄り添う居住支援を進めることを求める。単身生活保護世帯の孤独死が年間16人発生したことは信じがたい現実であり、職員配置が適正でないことの証明であることなどを指摘する。

政和会 反対

財源確保の取組や新型コロナウイルス対策が不十分な点などを指摘

①危機的な財政状況の中で財源確保の姿勢がない。②予算構築の指針、予算方針が不適当である。③DX取組へのトップの姿勢が見られない。④コロナ禍での複合災害などへのリスクヘッジができていない。⑤新型コロナウイルス対策が脆弱である。⑥骨格予算に花小金井武道館解体費を計上する必要性の根拠がない。⑦市全体で保育園の待機児童解消に取り組む姿勢がない。⑧公園を活用した市民を巻き込む市の姿勢が弱い。⑨都市計画、まちづくりが進まない。⑩GIGAスクール構想の市の方針、目標、方向性が不明瞭である。そのほか、2020年オリンピック・パラリンピック事業におけるコミュニケーションサイト実施の必要性が不明瞭である点などを指摘する。

フォーラム小平 賛成

全体として適正な予算であると判断

保育園待機児童対策等の喫緊の課題に対応し、ICT化にも取組が予定されているなど、全体として適正な予算と判断した。なお、①HPVワクチン接種は、メリットと共に副反応の情報提供にも努めてほしい。②DXの推進担当課長ができるが、国や都の機関のカウンセラーとしてのみ機能することがないように

一人会派の会 反対

目先のことしか見ておらず、将来を見据えた予算になっていない

①花小金井武道館の解体費用など、骨格予算でありながら市の独自施策など政策判断を基に計上されたものが多く含まれる。②97.3%という非常に高い経常収支比率で弾力性に乏しい予算で、将来の見通しが立たない財政状況を打開する姿勢が見えない。③補助金改革の姿勢が見えない。④小平市東京オリンピック・パラリンピック

日本共産党小平市議団 賛成

保育園待機児童対策、コロナ禍での生活困窮者への支援等を評価

①待機児童解消に向け、2021年度に1園、2022年度に3園の認可保育園をつくることは評価するが、児童数増加に間に合っておらず、追加対策を要望する。②コロナ禍での生活困窮者への就業準備支援等を評価するが、PCR検査数の拡充を要望する。③GIGAスクール構想でのICT支援員配置等を評価するが端末使用による目

生活者ネットワーク 賛成

コロナ禍での市民生活に軸足を置いた予算となっている

事業の見直し等で財源を確保し、堅実な予算編成と受け止めている。なお、①いきいき協働事業で、男女共同参画についての連続講座の開催を評価するが、今後は、男女共同参画センター事業として専門的知識のある職員の配置等を要望する。②保育園の新規開設による待機児童の解消は進めてほしいが、保育の質のガイドライン作成を改

まちづくり市民こだいら 反対

骨格予算に入れる事業選択の基準が不明瞭であると指摘

①花小金井武道館解体は、着手の遅れで大きな問題が生じるわけでもなく骨格予算に入ることが理解できない。②中央公民館等の複合化は新市長の下で慎重に検討すべきである。③小平駅北口再開発事業は、新市長の下、住民と共にゼロベースで検討し直すべきである。④2020オリンピック・パラリンピックのコミュニケーションサイ

トはコロナ禍に人を集める事業となり疑問である。⑤公共施設整備基金に約1億5千万円積み立てる一方、緑化基金の積立は3千万円で残念である。なお、こだいら生活相談支援センターへのコミュニケーションソーシャルワーカー増員による相談支援体制の拡充などは評価する。また、地下水活用による流水再生事業は継続するよう願う。

新しい議員の紹介

欠員になっていた市議会議員の補欠選挙が4月4日に行われました。任期は、令和5年4月30日までです。当選した議員と、その所属する会派、委員会等は次のとおりです(左から50音順)。



いしづ はるか
会派 政和会
住所・電話 学園東町1-7-11-206
050-3709-3286
委員会 環境建設委員会



おかだ しんぺい
会派 フォーラム小平
住所・電話 鈴木町1-290
042-343-3939
委員会 環境建設委員会



とやま まなみ
会派 政和会
住所・電話 小川東町2-13-8-405
042-313-6961
委員会 総務委員会

その他の主な議案

令和2年度一般会計補正予算(第8号)

新型コロナウイルスワクチン接種事業の経費を計上し、補正予算第4号で予算化した新型コロナウイルス感染症対策の事業の過不足を調整するものです。歳入歳出それぞれ13億1千3百14万8千円増額し歳入歳出予算総額をそれぞれ9百56億7千9百43万5千円とするものです。

議会人事

小平市土地開発公社評議員会評議員

松岡あつし(総務委員長)

中江 美和(環境建設委員長)

小林 洋子 鈴木 洋一

安竹 洋平 山岸真知子

新型コロナウイルス感染症対策の経費を計上するものです。

代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派の代表者が行う質問をいいます。本市議会では、年に1回、3月定例会2日目に行っています。質問時間は各会派の所属議員数に応じて決まっております。市長または教育長が答弁します。今回は、6会派から13件の質問があり、紙面にはその質問及び答弁の要旨を掲載しました。(QRコードの注意事項等は、4面「QRコード」をご覧ください。)

市議会公明党 佐藤 徹議員



市民を守り、「コロナ」と闘う市政を

議員 デジタル化実行施策の推進に当たり、今後の取組は、

市長 デジタル技術を扱うことができる人とできない人の間に生じるデジタルデバイドという格差是正の取組は、今後重要になると認識している。国等が示す是正の対策は、現時点で詳細が示されていないため、今後の動向を注視し検討していく。

安全・安心なまち小平の実現を目指して

議員 感染症拡大防止の観点から避難所管理運営マニュアルの作成、見直しが必要だが検討は、

市長 令和2年8月に避難所管理運営マニュアル作成の指針増補版、新型コロナウイルス感染症対策策定した。マニュアル作成済みの地区には見直しを促し、作成中の地区には増補版を踏まえた作成を支援している。

市民の健康を守るために

議員 庁内で発足した健康プロジェクトチームの進捗状況は、

市長 基本理念を健康な生活を旨とする健康に暮らしをもちこたえ、基本目標を若い世代の健康意識づくり元気を体づく

種の手続が行える電子申請サービスの拡充等、市民の利便性向上につながる取組を進めていく。

③現在実施している緊急初動要員訓練に加え、今回と同規模の図上訓練を実施することは困難であるため、それぞれの訓練内容を見直すなど、より効果的な訓練の実施に努めていく。

教育長 令和3年度は学校での活用を基本とし、児童・生徒が基礎的な操作を習得したり、児童・生徒の学習への興味・関心を高め、理解を深めたりするため、教科書の二次元コードの読み取りやインターネットを用いた情報収集、デジタル教材を活用した学習活動を行っていく。

政和会 松岡あつし議員

新型コロナウイルス対策と市民の暮らしと命を守る

議員 ①新型コロナウイルス対策として事業者支援に関する主な施策と効果は。また、今後どのような施策が有効と考えるか。

②DX・ICT推進に関して令和3年度に何を進める考えか。

③市は災害対策本部の図上訓練を職員のみで行ったが、今後同様の実践的訓練をするのか。

④GIGAスクール構想について、タブレット端末の学校現場での使用方法は。

市長 ①家賃支援給付や4か月

活躍推進をどう行っていくのか。市長 一般社団法人すだちとは今後も相互に連携等を図り、女性の就業・起業を支援していく。また、再就職を考えている人に向けた女性の就労支援講座等の開催で女性活躍を推進していく。

ICT活用が学校教育に及ぼす影響について

議員 タブレット端末を使った授業で目指す子どもたちの姿は。教育長 情報活用能力を身につけ高度情報化社会の中でICT機器を効果的に活用することで、将来にわたり生き生きと活躍できる児童・生徒を目指していく。

一人会派の会 中江 美和議員

第三次長期総合計画の総括と第四次長期総合計画の基本目標

議員 ①第三次長期総合計画の中期の施策の取組方針のテーマ(重点施策)39項目の中で遅れているものは。

②第四次長期総合計画に掲げる3つの基本目標のために考えている施策で、次の市長に引き継ぎたいものは。

市長 ①現時点で、テーマごとに設定しているいずれの目標値も、指標となる数値が初期値に対して一定の増加が見通し

であるものは、協働のさらなる推進、障がい者の自立にむけた支援の充実、都市計画道路の整備推進、公共交通の充実の4テーマである。

②新市長に施策を引き継ぐというのではなく、新市長の下で各分野の課題等を横断的に捉えていくものと考えている。

教育行政のこれまでの評価と今後の取組方針について問う

議員 教育長が取り組んだことで達成できたものと未達成のものについて、成果と決意は。

教育長 コミュニティ・スクールの14校に設置したほか、教員の長時間勤務の改善等に取り組んできた。今後は、ICTを活用した教育活動等を推進し、教育の質の向上等に努めるなどして、今後も、小平市の教育が目指す人問像の実現に向け、様々な取組を進めていく。

日本共産党 小平市議団 細谷 正議員

新型コロナウイルス感染症に

議員 ①市は独自に全医療機関に対し、直ちに減収補填など十分な財政支援を行うべきでは。

②コロナ禍での東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催についての認識は。

③新型コロナウイルス感染症の未曾有の危機に、市民に向けて市長として使命を果たす決意は。

市長 ①国が既に医療機関への支援事業を実施しており、市独自の支援の実施は考えていない。

②会場等の感染症対策や医療従事者の確保等が課題であり、大会組織委員会を中心に解決に向け検討していると聞いている。大会の開催はこのような課題が解決されることが前提であり、開催される場合は、市として関連する事業を安全に、安心して実施できるよう準備を進めておくことが必要と認識している。

力を取り組むとともに、新年度予算でも感染症対策に関連した事業予算を計上している。引き続き国等と役割分担をして連携しながら、市民の命と暮らしを守ることを第一に必要な確かな施策を積極的に展開していく。

生活者 ネットワーク 山崎とも子議員

公共施設マネジメントを好機に小平らしい学校教育の推進を

議員 ①新型コロナウイルス感染症対策は、公共施設マネジメント推進計画にどう影響するか。

②35人学級をどう推進するか。

③学校施設の更新に当たって、バリアフリー化やインクルーシブ教育をどのように推進するか。

市長 ①ハード面では密閉に対する換気対策など、ソフト面ではICT機器の整備等を検討する必要がある。次期推進計画の策定に当たり、市民が安全・安心に公共施設を利用できるよう、新しい生活様式の定着状況等を注視しつつ検討を進めていく。

教育長 ②東京都が定める学級編制基準に従い、35人学級の実現に向けて努めていく。引き続き、東京都教育長会を通じて、国や都に対し、教職員の配置等、必要な支援を要望していく。

※3月26日に小林洋子議員から議員辞職願が提出され、同日付で許可されました。詳細は8面をご覧ください。

市政を問う 一般質問 要旨

一般質問とは
議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問・各会派の代表質問の録画映像をご覧いただけます。

- * 市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。
- * 映像の配信期間は、次の定例会初日の前日までとなります。配信期間終了後は、閲覧できませんのでご注意ください。

(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



各種経済支援策の継続を / 鈴木遺跡国指定史跡化の活用を / (市議会公明党)



新型コロナウイルス感染症に対する各種経済支援策を継続すべき

質問 ①QRコード決済のau PAY、PayPayキャンペーンにおける最終実績は。

市長 ①au PAYの10月、12月の決済額は約1億8千7百万円、ポイント還元額は約4千8百万円、PayPayの11月、1月の決済額は約13億4千万円、ポイント還元額は約3億4千5百万円である。

②市民等から感謝の手紙等をもたらすなどの反響があり、市内消費の下支えと事業継続に一定の効果があったと捉えている。



ワクチンだけに頼らず健康なからだづくりを / (一人会派の会)



ワクチンだけに頼らない季節性インフルエンザ予防の推進

質問 ①昨年8月31日から今年1月24日までの累積インフルエンザ患者数は全国で793人だった。過去5年間の同期間の平均は約68・5万人で今シーズンは約0・12%にとどまっている。その原因への受け止めは。

②ワクチン接種とマスク、手洗い等の予防策の有効性、危険性を比較してどちらを市民に勧めるべきと考えるか。

③抵抗力、免疫力を高めるために有効な食生活や生活習慣は。

④抵抗力、免疫力を高める食生活や生活習慣について積極的



防災対策を進めるべき / 児童・生徒を守る通学路であるために / (市議会公明党)



より実効性のある防災対策を進めるべき

質問 ①1月17日に実施した図上訓練の評価と今後の展開は。

市長 ①災害対策本部の初動対応力の強化等を目的に実施し、訓練の目的はおおむね達成でき

た。今後、現在実施している訓練に加えて、今回と同規模の図上訓練実施は困難なため、それぞれの訓練内容を見直すなど、より効果的な訓練実施に努める。



これまでの新型コロナウイルス感染症対策を今後にかすため / (生活者ネットワーク)



これまでの新型コロナウイルス感染症対策を今後にかすため

質問 ①市内で感染者数が急増した原因について認識は。

②在宅療養者に対し市が行っている支援は。

③新型コロナウイルス感染症のワクチンの安全性と有効性は。

④令和元年12月と令和2年12月の子ども家庭支援センターが受けた虐待などの相談件数は。

⑤キャッシュレス決済でのポイント還元や歳末、年始キャンペーンの成果と課題は。

市長 ①無症状感染者の増加等、様々な要因が重なったことで全国的に急激に感染が広がった。

小平市特有の原因や事象はない。②東京都が主体となり支援策を講じている。必要に応じ多摩小平保健所と情報共有していく。



コロナ禍における市職員の働き方改革について / (一人会派の会)



コロナ禍における市職員の働き方改革について

質問 ①この4年間で、係長以上の職員で、メンタル不調による休職者は何人いるか。

②休職者への認識と改善は。

③今回の2回目の緊急事態宣言下においては、なぜテレワークを実施しないのか。

④時間外勤務の経費を適切な職員配置のための職員数確保に回すべきと考えるが、見解は。

市長 ①平成29年度は延べ3人、30年度は延べ4人、令和元年度は延べ5人、2年度は1月末現在で延べ10人である。

②職場にとっても大きな影響があるため、早期発見等により病氣休職の防止を図り、長期化しないよう適切で速やかな復職と再発予防の支援に努めている。

③地方公共団体情報システム機構等が実施する自治体テレワーク推進実証実験事業に応募し、令和3年度の開始に向けて準備を進めている。現在、貸出し用端末等の調達を進めるとともに、テストを兼ねて、一部で先行的に試行を始めている。



児童・生徒の近視対策等 / ストック型ボランティア登録制度 / (市議会公明党)



児童・生徒の近視対策と特別支援学級のバス送迎対象の拡大

質問 ①小・中学校における児童・生徒への今後の近視対策は。

市長 ①遮光カーテンや照明の適切な使用で教室内と机上を適度な明るさに保ち、ICT機器を長時間連続して使用しないよう各学校に周知を図っていく。

②保護者から相談があった場合は、個別の必要性を判断の上、自力での登校訓練実施を条件に、4年生修了時まで延長を認めて



年始に行われたキャンペーンのクーポン券(令和3年2月28日終了)

おり今後も同様に対応していく。ストック型ボランティア登録制度の新設で住み心地よいまちを



令和2年度総合防災訓練
消防団員の待遇を改善し人員確保を
鈴木洋一議員
(政和会)

令和2年度総合防災訓練、災害対策本部運営図上訓練について

質問 ①訓練に参加した人数は。②警察や消防など防災関係団体の参加は検討しなかったのか。③今回の訓練への評価は。

市長 ①99人である。

②新型コロナウイルス感染症感染防止のため3密を避ける必要があり市職員のみで実施した。

③発災時における災害対策本部の初動対応力の強化等を目的に実施し、目的はおおむね達成できたと捉えている。今後は、訓練支援業務委託業者の訓練報告書の内容も踏まえながら、課題等の整理を行っていく。



PCR検査の戦略的実行
福祉施設の社会的検査若者等支援
鈴木だいち議員
(日本共産党小平市議団)

PCR検査の戦略的実行の戦略的実行を求める

質問 ①小平市消防団員の平均年齢は。②団員の勧誘は現在どのように行っているか。

市長 ①令和2年4月1日時点で、40・8歳である。

②現役団員等による勧誘や自治会の推薦等である。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大で対面での勧誘が難しいが、電話等でできる限りの勧誘活動をしていると聞いている。

③令和2年4月1日時点で、43・7%である。



女性が不利益を被らないために
コロナ禍を踏まえた公共交通
山岸真知子議員
(市議会公明党)

コロナ下において女性が不利益を被らないために

質問 ①ゲートキーパーの必要性を提案しているが市の現状は。②独り親家庭への市独自の支援策を実施すべきだが見解は。

市長 ①市職員や関係団体職員などを対象に、外部講師を招きゲートキーパー養成講座を実施するなどしている。今後も機会を捉えて、より多くの人にゲートキーパーを理解してもらえよう取組を行っていく。

②経済的支援等を国や都が拡充する中で、市も最大限その方向に沿って実施している。市独自の支援策の実施予定はないが、

必要に応じて実施していく。



学校コロナ対策と子どもの健康
施設複合化と避難所の考え方
山崎とも子議員
(生活者ネットワーク)

小・中学校の新型コロナウイルス対策と子どもの健康について

質問 ①市立小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策は。②換気による教室内の寒さ対策は。

市長 ①市立小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策は、何に基づいて行われているか。

②緊急事態宣言下での新入学説明会で工夫した点はあるか。

③緊急事態宣言下での新入学説明会で工夫した点はあるか。説明会で工夫した点はあるか。



新型コロナウイルス感染症
自宅療養者への支援体制の強化を
虹川 浩議員
(市議会公明党)

新型コロナウイルス感染症自宅療養者への支援体制の強化を

質問 ①市の新型コロナウイルス累計感染者数は。②多摩地域を中心に自宅療養者フォローアップセンターが設置され、保健所等が健康状態をフォローするとされているが、

1月25日開始の保健所による具体的支援内容や市との連携は。

③これまで国や東京都にパルスオキシメーターの小平市への配備の要望はしたか。

④健康管理、見守りのための機器やアプリ導入への見解は。

市長 ①多摩小平保健所からの情報に基づき、2月21日時点の



自宅療養者へのフォローアップを
扶養照会はやめるべき
きせ恵美子議員
(日本共産党小平市議団)

自宅療養者への医療的フォローアップを

質問 ①令和2年4月2日の国の通知に、自宅療養の健康状態のフォローアップ等を行う都等は、市町村とも連携するなど関係機関との調整を行うという項目があるが、市の取組状況等は。

②保健所の体制強化と市との連携の仕組みづくりが必要では。

市長 ①自宅療養者の情報は東京都が一元的に管理しており、市では詳細な情報を把握していない。引き続き東京都と緊密な情報共有に努めていく。

②前者は、都が適切に対応を講じていくと認識している。後

者は、引き続き保健所と情報共有に努め協力を図っていく。



生活保護の
扶養照会はやめるべき
生活保護の扶養照会はやめるべき

生活保護の扶養照会はやめるべき

質問 ①市は扶養照会を親族へどのように実施しているか。②扶養照会はやめるべきと考

えるが、市の見解は。

市長 ①要保護者に扶養照会を行うことを説明し、了解を得てから原則として書面により実施している。

②法令及び国からの通知に基づき実施している。今後も扶養照会の取扱いについては、国が

示す通知等に沿って適切な対応を行っていく。



独り親家庭への支援策を周知する「ひとり親家庭応援ガイドブック」



女性がより安心して活躍できる
小平市にするために
水口かずえ議員
(まちづくり市民こだいら)

女性がより安心して活躍できる小平市にするために

質問 ①女性相談の体制の拡充が必要ではないか。②SOGIやLGBTに関する相談を始めてはどうか。

③男女共同参画センターの機能強化にどう取り組むか。

④女性活躍推進法の改正で、新たに一般事業主行動計画の策定、公表義務の対象となる市内事業所数は。

⑤市内の女性管理職の割合が、目標30%に対して、実際は18%にとどまった要因は何か。

市長 ①本年度の1日平均相談件数は4・2件で約半分の稼働





カーボンニュートラルの圧力下で市が誤った道を進まぬように
安竹洋平議員
(一人会派の会)

カーボンニュートラルの虚実を、まず科学的に捉えよ

質問 ①令和元年度末の市内太陽光発電規模約5千3百47kWの実現に市が投じた総額は。

②暖房のエネルギー消費量は非常に大きい。ペレットストーブや暖炉の活用により、二酸化炭素総排出量を大きく減らせる。市内で伐採した樹木や剪定枝をペレットにし、市内公共施設等でペレットストーブの試験的な運用をしようか。

市長 ①国や都等の補助金を除き約2億4千8百32万円である。②ペレットストーブは環境に優しいストーブだが、ペレット

の保管、火災の危険性、臭いや煙の発生等課題がある。他市の事例を参考に今後研究していく。

選挙を良くするため、再度問う

質問 期日前投票の拡充は新人に不利に働く。拡充するならば同時に選挙公報サイトの周知を早める必要があるとし、具体的提案を令和元年6月の一般質問で行った。検討状況は。

選挙管理委員会事務局長 4月の市長選挙等では市報臨時号や投票所入場整理券の封筒、啓発のための配布物等に選挙公報など選挙情報にアクセスできるQRコードを掲載する予定である。

助け合いの会で地域共生を／コミュニティソーシャルワーカー

小平団地自治会、助け合いの会の活動から地域共生を考える

質問 ①ごみ出しなどの簡単なサポートを自治会が窓口で行う、助け合いの会の取組の評価は。

②取組が広がらない理由は。③地域連絡会がこの取組を行うことを協議できないか。

④地域包括支援センターを窓口としたモデル事業の検討は。市長 ①住みよい地域社会づくりに重要な役割を果たしている。②自治会は任意の団体で、活動内容が異なることなどによる。③自治会地域懇談会などでこうした先進事例を紹介する。④検討はしていないが、様々



市民の安全を守るため／市民菜園を増やし緑を守る啓発を
比留間洋一議員
(政和会)

市民の安全を守るための防犯カメラを増やそう

質問 ①商店街以外に防犯カメラが設置された場所はありますか。

②今後、設置する防犯カメラの数を増やす考えはあるか。

市長 ①中央公園の鷹の台駅への連絡地下通路に4台、教育委員会が設置したものとして学校通学路に11台などがある。

②自治会等からの設置要望について、地域住民等の合意があるなど設置の条件が整った場合に、都の補助金を活用し支援していく。現在、学園西町会への設置の支援をしております。2年度中に設置が完了する見込みである。

市民菜園を増やし緑を守るための啓発を

質問 ①令和2年度の1区画当たりの年間貸出し金額は。

②緑を守る啓発のため、市民菜園を増やす考えはあるか。

市長 ①野火止菜園は1区画年間1万2千円、そのほかの菜園は1区画年間6千円である。

②まとまった土地の確保が難しいことなどから現時点で増やす考えはない。体験農園が4か所あり令和3年度も1か所開設するため、市は整備の支援をしている。今後も、市民が農業体験を通し緑と触れ合うことのできる場の提供に努めていく。

ポストコロナ向け防災等の観点からインフラ等の現状を問う

質問 ①公共施設のフリーWi-Fi整備の現状は。

②UDトーク等の活用は。③コロナ禍においてルネこだいら各ホールの入場者数を半分にするならば、ホール使用料を半額にするべきではないか。市長 ①現在、市民活動支援センターあすびあに設置している。今後、小川駅西口地区市街地再開発事業の公共床の複合施設への導入を検討している。教育長 ①中央公民館、中央図



小平市は市民から運動する場を奪いすぎなのではないか
福至英俊議員
(政和会)

小平市は市民から運動する場を奪いすぎなのではないか

質問 ①小川西グラウンド人工芝化への令和2年度の取組は。

②学校施設スポーツ団体開放、校庭の開放時間は4月から10月は午後7時まで延伸すべきでは。

③市民総合体育館プール利用の制限解除へのロードマップは。

④市民総合体育館1階プレイルーム再開へのロードマップは。

⑤小平市が休止した学校施設や市営プール等と同様の近隣自治体の施設において、クラスターが発生した事案はあったか。

市長 ①今後の事業費が多額となることやサービスの拡充であること等から、実施を見送った。②学校教育及び近隣住民への影響など配慮が必要であるため、現時点では考えていない。

③新型コロナウイルス拡大状況等の動向を注視し国等のガイドラインに基づき判断していく。

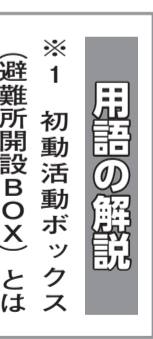
④感染防止対策の徹底が難しいため休止している。再開は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら判断していく。

⑤近隣自治体の公表状況等を確認した範囲ではクラスター発生事案はないものと捉えている。

令和2年度一般会計補正予算において、市民の声は本当に反映されてきたのか

各常任委員会では、課題を設定し政策課題調査を進めています。3月定例会最終日の委員長報告の概要は次のとおりです。

総務委員会 委員長 松岡あつし
開催日 令和2年1月31日、令和3年3月9日(合計9回)
調査事項
○情報化推進について
○ICT環境整備の加速化について
1 来庁せずに手続完了を目指す
・オンライン上で行政手続を終える仕組みの構築
・一元的なオンライン窓口導入
・プッシュ型の通知等のSNS



※1 初動活動ボックス(避難所開設BOX)とは豊橋市の各避難所に配備された、避難所開設に係る手順を示す活動指示書や必要な資機材が収納されている箱のこと。

※2 パルスオキシメータとは皮膚を通して動脈血酸素飽和度(SpO2)と脈拍数を測定するための装置のこと。

※3 SOGIとは性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の頭文字を組み合わせた表現のこと。全ての人の性の在り方を人権として考えていく際に使われる。

特別委員会 調査等報告
3月定例会で各委員長が報告した、前回の中間報告(令和2年2月21日)以降の経過の概要は次のとおりです。

都市基盤整備調査特別委員会 委員長 松岡あつし
開催日 令和2年6月17日、令和3年1月20日(合計3回)
【主な内容】
・都市計画道路等の整備状況
・駅前再開発事業の進捗状況
・都市計画公園の整備状況

厚生委員会 委員長 山岸真知子
開催日 令和2年2月4日、令和3年2月2日(合計8回)
調査事項
○子育てしやすいまちについて

環境建設委員会 委員長 中江 美和
開催日 令和2年2月5日、令和3年3月12日(合計8回)
調査事項
○人と動物の共生社会の推進について

生活文教委員会 委員長 吉本ゆうすけ
開催日 令和2年2月3日、令和3年2月1日(合計7回)
調査事項
○空き家対策(うち2回)
○ポストコロナ・ウィズコロナ時代の教育と経済(うち5回)

公共施設マネジメント調査特別委員会 委員長 細谷 正
開催日 令和2年6月18日、令和3年1月21日(合計3回)
【主な内容】
・令和2年度の小平市公共施設マネジメントの取組内容について(その1) (その3)

教育現場等での普及啓発の推進
2 地域猫活動の推進
中心となる団体の育成推進
外
3 ペットの災害対策
普及啓発
4 その他動物に関する施策
庁内体制の構築 外

人と動物の共生社会の推進について

人と動物の共生社会の推進について

人と動物の共生社会の推進について

3月定例会

議案等に対する各議員の賛否

会派名略称 ()内は各会派の議員数 公明:市議会公明党(6) 政和:政和会(5) フォ:フォーラム小平(4) 一人:一人会派の会(4) 共産:日本共産党小平市議団(3) 生ネ:生活者ネットワーク(3) 市民:まちづくり市民こだいら(1...無党派)

Table with columns for district, number, item name, decision result, and individual member votes (賛/成/対).

○:賛成 ×:反対 ※副議長は、議長の職務のため表決に加わっていません。

全会一致で議決した議案等 注1

Table listing unanimous decisions for various items, including budget adjustments and ordinance amendments.

注1 副議長は、議長の職務のため表決に加わっていません

「市民と議会の意見交換会」を開催します

テーマ「今、議会に望むこと コロナ禍でお困りのこと、お聞かせください」

市議会では、今年最初の意見交換会を開催します。今回は、会場にお越しいただく以外に、オンライン（Zoom）による参加も可能です。

- 日程 5月15日(土) 午前10時から正午まで
会場 学園西町地域センター 第一・第二集会室
内容 3月定例会及び4月臨時会の報告、新型コロナウイルス対応についての現状説明、テーマや市政全般についての意見交換
費用 無料(オンラインでの参加の場合、通信料は自己負担)
定員、申込み

Table with columns for participation type (online/offline), number of seats, and application details.

- *1 手話通訳あります(申込み不要)。手話通訳者もカメラに映るよう配慮します。
*2 オンラインでの参加の場合は、Zoomを利用したコメントのみの参加となります。
*3 その他、注意事項等は、市議会ホームページをご覧ください。

問合せ 議会事務局 ☎042(346)9566 メール gikai@city.kodaira.lg.jp



請願・陳情

3月定例会では、請願1件を新たに受理し、採択しました。陳情は2件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

旧佐川邸の土地を売らないことも含め、市民の意見を聞きながら公園整備を行うことについて

1 旧佐川邸の土地を売らないことも含め市民の意見を聞きながら公園整備を行うことについて。
2 ふるさと納税について、「制度本来の趣旨に沿った、一定額以上の寄附が見込める場合に限り」他市財源を奪わないよう、寄附上限を市の前年度ふるさと納税流出額分までとする」など

岡江 伸子

意見書

3月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

喜平橋周辺と歩道の安全確保のための早急な整備を求める意見書

あかしあ通りと五日市街道が交差し、玉川上水に架かる喜平橋は平成3年(1991年)に改修さ

議員の辞職

議員辞職願について、2月18日に磯山 亮議員(政和会)から、3月26日に小林洋子議員(フォーラム小平)から、それぞれ市議会副議長に提出され、同日付で許可されました。
なお、議長が選挙されるまでの間、地方自治法第106条の規定により、副議長が議長の職務を行います。

あとがき

3月定例会では、各会派からの代表質問などが行われました。今後もより分かりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。〒187-18701 小平市小川町二丁目133番地

TEL 042(346)9566 FAX 042(346)9567